ラート情報誌「わっ！」

第 57 号　2021 年　6 月
日本ラート協会オフィシャルホームページ　http://www.rhoenrad.jp　e-mail　office@rhoenrad.jp

IRV チームトロフィー2021

2021 年 5 月、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった世界団体選手権の代わりに開催されたオンラインイベント、IRV チームトロフィーが行われました。

5 月上旬に出場国が自国で演技、撮影したものを IRV に提出し、後日国際審判員によって採点、16 日(日)にジュニア部門 23 日(日)にシニア部門の放映と表彰が行われました。

ルールは団体選手権同様です。各国の選手が計6演技を行い得点を競います。1ラウンド（各国1演技）ごとに得点の高い国から順に4～1ポイントを獲得し、その総合ポイントで順位が決定します。

日本チームは銅メダルを獲得しました。結果は以下の通りです。

ジュニア

1 位	ドイツ	25 ポイント
2 位	イスラエル	24 ポイント
3 位	オーストリア	13 ポイント
4 位	スイス	10 ポイント

シニア

1 位	オーストリア		22 ポイント
	ドイツ		
3 位	**日本**		**19 ポイント**
		松浦（斜転）	7.75
		堀口（直転）	8.35
		髙橋（斜転）	10.35
		髙橋（直転）	10.60
		安高（跳躍）	7.85
		堀口（斜転）	9.80
4 位	スイス		11 ポイント

photo by k.takezono

結果詳細 ジュニア：https://wheelgymnastics.sport/team-germany-wins-the-junior-irv-team-trophy-in-a-tight-contest-with-team-israel/
シニア：https://wheelgymnastics.sport/senior-team-trophy-joint-1st-place-for-austria-and-germany/

日本選手団の感想を紹介します。

本谷　聡　筑波大学　（デリゲーションリーダー / 国際審判員）

まず始めに本イベントの全体概要について簡単に説明します。5 月に入り、IRV 担当スタッフのオンラインによる監視の下、出場国において各国代表選手の演技が撮影されました。日本チームは 5 月 8 日（土）に撮影を実施しました。その後、出場国より選出された審判員をもとにして、国際審判団が結成され、5 月 15 日（土）16 日（日）の両日において、映像共有によるライブ採点が実施され、各演技の最終得点が決定しました。その後、収録された演技映像や審判映像等をもとに編集がなされ、日本時間の 5 月 16 日（日）深夜にはジュニア、5 月 23 日（日）深夜にはシニアの放映が実施されました。このように、初めてのフォーマットによるオンラインでの国際大会で、IRV スタッフを始めとした多くの関係者の素晴らしい発想とそれを実現するための様々な努力によって開催することが実現できたと考えております。感謝の念に堪えません。今後歴史になるであろうこの記念すべき国際オンラインイベント「IRV Team Trophy 2021」に日本として参加できたことは嬉しい限りです。今回の経験を次回のデンマーク大会以降に生かしていきたいと考えております。

髙橋　靖彦　秋田ノーザンハピネッツ　（直転・斜転）

オランダが選考会すら行えず出場を辞退せざるを得なかったことを考えると、今大会に日本チームとして出場できたことが本当に良かったと感じています。改めて開催に尽力してくださった関係者の皆様に心から感謝いたします。

大会の中止が続く中で、「試合ができる」喜びをこれまでで一番強く感じました。演技前の緊張感や心身が奮え立つ感覚は、いつもの世界大会さながらだったと思います。試合の結果や内容も大切ですが、ラート仲間が集って共に力を合わせて活動できた時間に価値があり、幸せなことだと感じました。

今後も全国的に活動の制限が生じることがあると思いますが、今できることを前向きに考えて、ラートの普及や発展に尽力していきたいと思います。引き続き応援の程よろしくお願いいたします。

堀口　文　筑波大学体操部 特任助教　（直転・斜転）　キャプテン

まず初めに日本選手団のチームトロフィーへの出場にあたり、お力添えいただいた方々へ心より御礼申し上げます。応援していただき、本当にありがとうございました。

今回、初めてキャプテンとして世界大会に参加させていただきました。キャプテンという立場であったにも関わらず、自身の演技で大きな失敗をしてしまいましたが、他のメンバーに助けられながら３位という順位を獲得できたことに対しては、少しホッとしています。とはいえ、金メダルも狙える実力はあったと思うので失敗の原因から逃げずに向き合い、次回に活かしたいと思います。…と、ここまでの文章を書きながら、こうして大会に出場し試合を振り返られること自体が、どれだけ幸せなことかと感じています。早くコロナが収束してほしいと願うばかりです。収束後、日本中、世界中のラート愛好家の皆さんと再び笑顔で会える日を信じて、これからも頑晴りたいと思います。

松浦　佑希　宇都宮大学　（斜転）

この度は，新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい続ける中にも関わらず，このような大変貴重な機会を設けて下さったラート関係者の皆様に厚く御礼申し上げます．オンライン開催という初の試みで臨機応変な対応が求められる中，全力でサポートをして下さった，コーチ，スタッフの皆様には感謝してもしきれません．皆様のサポートなしには実現できなかった大会です，本当にありがとうございました．私自身としましては，このような大変有難い機会であったにも関わらず，悔しさと申し訳なさが心に残る演技となってしまい，自分自身に不甲斐なさを感じています．今大会で得たこの経験を無駄にしないよう，次に向けて精進して参ります．まずは，新型コロナウイルス感染症の１日でも早い終息を，そしてまた皆さんと一緒に楽しくラートができる平穏な日々が戻ってくることを心より願っています．

安高　啓貴　筑波大学体操部 OBOG　（跳躍）

まず初めにチームトロフィの開催にあたり、尽力くださった国内、国外の全ての皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

チーム戦で戦うのは大学生以来８年ぶりのことであり、チーム戦ならでのプレッシャーや、１種目だけを練習する調整の難しさを実感した大会でした。それゆえに満足のいく状態で当日に臨めたわけではないという不甲斐なさ、悔しさはありましたが、その状態の中での自分のベストを出せたことは大きな経験になりました。

大会が開催され、出場できたことへの喜びを強く感じる一方で、未だ国内大会は開催できておらず、大会に出たくても出れていない選手が多くいることと思います。選手の次は運営スタッフとして、8/28,29 に予定されているインカレが With コロナの形で無事に開催されるよう、全力でサポートします。

但馬　絵美子　ラートサークル SAKURA　（コーチ）

2020 年国際大会が延期となり、2021 年も難しいのでは…と、心を痛めていた中、チームトロフィー開催の知らせを聞き、嬉しく思ったことを覚えています。初めてのことに前向きにチャレンジし続けてくださる IRV 役員の方々の強い気持ちを感じました。

オンライン競技会では撮影環境も採点に影響するため、演技場所や背景を考えたり、無観客会場で選手団の気持ちを盛り上げるためにできることを考えたり…今までにない経験でした。大会を終えて気付いたことは、オンライン競技会ならではのサポートとしてやれることがまだまだ沢山あった！ということです。今後のオンライン競技会では今回の反省を活かし、よりよいサポートを提案していきたいと思います。

今回 IRV の方々、選手団、世界各国のラートフレンズから、たくさんのパワーをもらいました。このような状況下ではありますが、笑顔で前を向いて進んで（回って）いきたいと思います。そしてまた皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

吉行　暢子　筑波大学体操部 OBOG　（コーチ）

まず初めに深夜放映の中、眠い目をこすりご観戦くださった皆さまありがとうございました。

選手たちは、満足の練習環境でない状況かつ撮影も慣れていない会場で、調整が難しかったと思います。しかしそんな中でもさすがベテラン勢。できる限りの準備をして当日に臨んでいてとても頼もしかったです。コーチとして、そんな選手の練習や準備を十分にサポートできなかったのは非常に心残りです。

コロナで全日本大会や世界選手権の中止など相次いでいましたが、こうしてオンラインでも大会が再開されたことは嬉しいことですし、私自身久しぶりにラートに触れ、ラート仲間と再会し、ラートの楽しさや仲間と過ごす喜びを思い出した大会でした。ここからまたラート競技、ラート界を盛り上げていきましょう！

山田　光穂　筑波大学体操部　（コーチ）

まず何よりオンラインで世界大会を開催できたこと、コロナ禍における大会の先駆けとなった意義ある大会にコーチとして参加できたこと、非常に嬉しく思います。大会開催にあたり尽力してくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。初めての日本代表団、コーチで少々不安もありましたが、経験豊富な選手・コーチの方々のおかげで自身も役目を全うできたかと思います。一方で、心理面のサポート等、もっと選手を支えることができたのではないかと思うところもあります。今後もし日本代表団という形で関わる機会があれば、今回の経験を活かしていきたいと思います。

大会映像を視聴してくださった方々にも、感謝申し上げます。顔を合わせてお会いできる日を楽しみにしております！

宗　遼平　日本ラート協会　（国際審判員）

初めに、昨今のような情勢にも拘らず、全霊で演技に取り組まれた選手の皆様、また円滑に運営を務めてくださった皆様に感謝申し上げます。これまでとは大きく異なる形式で開催された本大会ですが、IRV だけでなく日本ラート協会にとっても一定の意義があり、今後の発展のための特別なプロセスでもあったように感じております。

皆様と直接お会いできなかったことは残念でしたが、また一堂に会して大会に臨める日を心待ちにしております。それまではどうかお体に気をつけてお過ごしくださいませ。

古屋　欽司　筑波大学 OB/日本ラート協会技術部会　（国際審判員）

「オンライン審判での参加」

私は今大会では斜転の実施審判として参加しました。初のオンライン大会で、私としても初めての斜転の国際審判であり、直前は緊張しました。準備については、通信環境など普段と異なることにも気を遣う必要がありましたが、採点自体はスムーズに行うことができました。選手にとっても、練習も限られる中で大会自体もオンラインでの試技であり、慣れない部分も多く大変だったのかと思います。そのような中でも各国の選手が精一杯演技している姿を、審判として一番早く見ることができ、感慨深いものがありました。

自由に練習することが難しい状況が続いていますが、オンラインであってもオンサイトであっても、良い大会を行うことができ、皆様にもお会いできることを祈っております。

Special thanks!!!

チームトロフィーで選手団を支えてくださいました。

竹園 孝太朗さん（千葉県立手賀の丘少年自然の家）

選手の演技当日だけでなく、事前にも撮影機材とともに会場に足を運び選手の練習に立ち合い、打ち合わせや撮影通信環境・機材の確認を行ってくださいました。ありがとうございました。

【事務局便り】

◎　今年度の主な行事

イベント	日程	場所
・　第 16 回全日本学生ラート競技選手権大会※1	8 月 28 日(土)～29 日(日)	谷田部総合体育館 （つくば市）
・　夏季学生対象実技講習会	8 月 30 日(月)～31 日(火)	谷田部総合体育館 （つくば市）
・　夏季一般対象実技講習会	9 月 12 日(日)	手賀の丘少年自然の家 （柏市）
・　目指せ名人！第 6 回ジュニアラート大会※2	9 月 23 日(木祝)	港区スポーツセンターアリーナ 5 階アリーナ（港区）
・　第 26 回全日本ラート競技選手権大会	12 月 11 日(土)～12 日(日)	カピオアリーナ （つくば市）
・　春季一般対象実技講習会	3 月 19 日(土)～20 日(日)	手賀の丘少年自然の家 （柏市）

※1　第16回全日本学生ラート選手権大会は、全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会主催の大会です。
全日本学生ラート選手権大会詳細はコチラ→http://rhoenrad.blog.shinobi.jp/

※2　目指せ名人！第6回ジュニアラート大会は、目指せ名人！ジュニアラート大会実行委員会主催の大会です。
全日本学生ラート選手権大会詳細はコチラ→https://ratomeijin.wixsite.com/junior

新型コロナウィルスの感染の状況を鑑み、予定は変更する可能性がありますので、ご了承くださいますようよろしくお願いします。

【編集後記】

洗濯物が乾きにくい日も多い季節になってきましたね。運動不足を解消しようと体を動かした日には部屋の中に洗濯物がいっぱい…　車に積んであるラートを全部おろして組み立てれば、筋トレも運動もできるし洗濯物干せる場所も増える！！！　いつか広～い家に住んだ際には、やってみたいと思います♪♪♪

ラート協会広報部会委員　　但馬　絵美子